



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場会社名 株式会社クレハ 上場取引所 東
 コード番号 4023 URL <http://www.kureha.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 数井 明生 (TEL) 03-3249-4651
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	63,718	8.3	4,780	13.4	3,713	△6.2	2,222	—
24年3月期第2四半期	58,852	△9.0	4,214	40.1	3,957	55.4	△975	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,150百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △942百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	12.95	12.93
24年3月期第2四半期	△5.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	188,430	90,261	46.7
24年3月期	186,223	88,554	47.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 87,987百万円 24年3月期 87,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	5.2	9,000	6.2	6,500	△17.4	2,500	71.2	14.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期2Q	181,683,909株	24年3月期	181,683,909株
25年3月期2Q	10,003,576株	24年3月期	10,031,300株
25年3月期2Q	171,680,653株	24年3月期2Q	171,669,076株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	P3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	P4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	P4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	P4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	P4
3. 四半期連結財務諸表.....	P5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	P5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	P7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	P9
(4) セグメント情報等.....	P9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は復興需要に下支えされているものの、欧州債務危機の継続、中国経済の停滞と政治リスクの高まり等による外需の停滞もあり、下期にかけて景気が調整局面に入ることが懸念されております。

当社グループはこのような状況のもと、2012年度を初年度とする「中期経営計画GROW GLOBALLY-II」(以下、「中計GG-II」という)に基づき、更なる企業価値の向上に向けてスタートを切りました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は震災の影響が解消し、前年同期比8.3%増の637億18百万円、営業利益は前年同期比13.4%増の47億80百万円、経常利益は前年同期比6.2%減の37億13百万円となりました。

四半期純損益につきましては、災害損失を計上した前年同期9億75百万円の四半期純損失から22億22百万円の四半期純利益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高			営業損益		
	前第2四半期	当第2四半期	増減	前第2四半期	当第2四半期	増減
機能製品事業	15,890	13,990	△1,899	587	△367	△955
化学製品事業	14,802	16,860	2,057	2,870	3,688	818
樹脂製品事業	17,110	20,224	3,114	672	1,676	1,003
建設関連事業	4,968	5,998	1,029	341	205	△135
その他関連事業	6,080	6,644	563	388	△0	△389
消去	—	—	—	△647	△422	224
連結合計	58,852	63,718	4,866	4,214	4,780	566

①機能製品事業

機能樹脂分野では、PPS樹脂は売上げの増加及び米国合弁事業による増収基調が継続し、ふっ化ビニリデン樹脂は工業用素材用途の売上げは順調に回復したものの、リチウムイオン二次電池用バインダー用途の需要が回復せず、PGA(ポリグリコール酸)樹脂は昨年完工した米国工場での試運転関連費用が発生し、この分野での売上げは前年同期に比べ減少いたしました。営業利益は増加いたしました。

炭素製品分野では、炭素繊維での太陽電池向けシリコン製造装置用断熱材用途、特殊炭素材料での車載用リチウムイオン二次電池用負極材用途で需要が各々低迷し、この分野の売上げは前年同期に比べ減少いたしました。又、営業損益は前年同期の営業利益から営業損失となりました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比12.0%減の139億90百万円となり、営業損益は前年同期5億87百万円の営業利益から3億67百万円の営業損失となりました。

②化学製品事業

医薬・農薬分野では、抗悪性腫瘍剤「クレスチン」慢性腎不全用剤「クレメジン」共に売上げは堅調に推移したことに加え、慢性腎不全用剤「クレメジン」の後発品に関する特許権侵害訴訟の和解金収入があり、又、農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」の輸出が増加し、この分野での売上げ、営業利益共に前年同期に比べ増加いたしました。

工業薬品分野では、か性ソーダ等の無機薬品類での売上げの回復もあり、この分野の売上げ、営業利益共に前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比13.9%増の168億60百万円となり、営業利益は前年同期比28.5%増の36億88百万円となりました。

③樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、家庭用ラップ「NEWクレラップ」ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」共に売上げは前年同期に比べ増加し、この分野の売上げ、営業利益共に前年同期に比べ増加いたしました。

業務用食品包装材分野では、塩化ビニリデン・フィルム、多層ボトルは売上げが減少し、欧州子会社は売上げは堅調でしたが原料高の影響により減益となり、この分野の営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

包装機械の売上げは増加いたしました。中国向けの塩化ビニリデン・コンパウンドの売上げは減少し、営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比18.2%増の202億24百万円となり、営業利益は前年同期比149.1%増の16億76百万円となりました。

④建設関連事業

建設事業は、前期からの繰越工事により、売上げは大幅に増加いたしました。資材費及び人件費の上昇などにより採算は悪化し、営業利益は前年同期並みとなりました。

エンジニアリング事業は、プラント建設において新規工事が増加いたしました。当事業に含めておりました環境関連エンジニアリング業務を当期よりその他関連事業に移管したため、売上げ、営業利益共に減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比20.7%増の59億98百万円となり、営業利益は前年同期比39.8%減の2億5百万円となりました。

⑤その他関連事業

運送事業は、前年同期に取引先企業が被災した影響は解消したものの、当期は競争激化により受注減となり、売上げ、営業利益共に減少いたしました。

環境事業は、産業廃棄物処理は減少したものの災害廃棄物撤去管理業務が増加し、売上げは増加いたしました。廃棄物処理コスト及び経費の増加があり、営業損益は前年同期の営業利益から営業損失となりました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比9.3%増の66億44百万円となり、営業損益については前年同期3億88百万円の営業利益から0百万円の営業損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産に関する分析

当第2四半期末の資産の部につきましては、流動資産は、前第4四半期に比較して当第2四半期の売上債権は減少いたしました。手元資金とたな卸資産の増加により、前期末に比べ8億92百万円増の677億14百万円となりました。有形固定資産は、いわき事業所での高水準の設備投資等により、前期末に比べ29億1百万円増の900億19百万円となりました。投資その他の資産は、投資有価証券の時価が前期末より下落したことにより、前期末に比べ19億96百万円減の294億47百万円となりました。以上の結果、資産合計は、前期末に比べ22億6百万円増の1,884億30百万円となりました。

負債の部につきましては、有利子負債は短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増加と長期借入金の減少との差し引きにより、前期末に比べ50億73百万円増の617億57百万円となりました。仕入債務の減少などにより、負債合計として前期末に比べ5億円増の981億69百万円となりました。

純資産の部につきましては、四半期純利益22億22百万円を計上、剰余金の配当8億58百万円を実施し、株式の評価差額金の減少、為替換算調整勘定の増加などの差し引きとして、純資産合計は、前期末に比べ17億6百万円増の902億61百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、「中計GG-II」で掲げているふっ化ビニリデン樹脂などの機能製品事業の拡大、農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」のグローバル展開、PGA(ポリグリコール酸)樹脂やリチウムイオン二次電池(LiB)用負極材の事業化推進等の施策遂行に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間は前年同期比増収増益となりましたが、中国経済の減速・欧州債務危機の長期化・米国景気回復の遅れなどにより、世界経済の先行きは不透明さを増しております。

当社グループにおきましても、「樹脂製品事業」の中国向け塩化ビニリデン・コンパウンド需要減や太陽光発電市場の停滞による「機能製品事業」の炭素製品分野等への影響が想定されます。又、電気自動車(EV)市場の立上げが当初の想定から遅れており、「機能製品事業」の電池材料関連製品についても厳しい事業環境となることが見込まれます。

こうした状況を踏まえ、今期の連結業績予想を修正し、売上高は1,350億円(前期比5.2%増)、営業利益は90億円(前期比6.2%増)、経常利益は65億円(前期比17.4%減)、当期純利益につきましては25億円(前期比71.2%増)といたします。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(注)	140,000	10,000	8,000	3,500	20円39銭
今回修正予想	135,000	9,000	6,500	2,500	14円56銭
増減額	△ 5,000	△ 1,000	△ 1,500	△ 1,000	—
増減率 (%)	△3.6	△10.0	△18.8	△28.6	—
前期実績	128,358	8,472	7,867	1,460	8円51銭

(注) 2012年5月14日公表の業績予想であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度のグループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社では従来、有形固定資産(建物(建物附属設備を含む)及びリース資産を除く)の減価償却方法は定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更いたしました。

この変更は、前期に策定した「中計GG-II」の目標達成のため国際的な競争激化に対応して今後積極的な海外展開を拡大していく方針としたことを契機に、当社国内保有の有形固定資産の使用状況と今後の設備投資内容の精査を行った結果、これらは耐用年数にわたり長期安定的に稼働し、その修繕維持費に係る費用も平準的に発生、急激な技術的、経済的陳腐化は見られないことが確認できました。そこで、今後の海外展開を前提とすれば、当社海外子会社の全てが採用している定額法を当社グループ全体で採用することで、生産設備を中心とした有形固定資産投資の実体をより適切に反映させることができ、グループ全体の設備投資効果もより容易に把握できると判断したためです。

この結果、従来の方によった場合に比べて減価償却費は652百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は652百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,857	9,863
受取手形及び売掛金	29,586	26,471
商品及び製品	15,540	16,383
仕掛品	1,118	2,137
原材料及び貯蔵品	5,493	5,210
その他	6,295	7,713
貸倒引当金	△69	△66
流動資産合計	66,821	67,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,897	30,427
機械装置及び運搬具（純額）	33,387	34,713
建設仮勘定	8,537	9,309
その他（純額）	15,296	15,569
有形固定資産合計	87,118	90,019
無形固定資産	840	1,248
投資その他の資産		
投資有価証券	16,882	14,683
その他	14,883	14,950
貸倒引当金	△322	△187
投資その他の資産合計	31,443	29,447
固定資産合計	119,402	120,715
資産合計	186,223	188,430

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2012年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,262	15,411
短期借入金	16,049	19,631
未払法人税等	576	1,826
賞与引当金	2,061	2,113
役員賞与引当金	65	37
災害損失引当金	579	301
その他	18,721	21,914
流動負債合計	57,316	61,238
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	15,634	13,125
退職給付引当金	650	605
役員退職慰労引当金	336	306
環境対策引当金	163	163
資産除去債務	785	791
その他	2,781	1,938
固定負債合計	40,352	36,931
負債合計	97,669	98,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	9,149	9,150
利益剰余金	71,988	73,349
自己株式	△4,546	△4,534
株主資本合計	89,051	90,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,609	2,239
繰延ヘッジ損益	△5	△12
為替換算調整勘定	△5,048	△4,664
その他の包括利益累計額合計	△1,444	△2,438
新株予約権	82	78
少数株主持分	864	2,195
純資産合計	88,554	90,261
負債純資産合計	186,223	188,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
売上高	58,852	63,718
売上原価	42,079	46,671
売上総利益	16,772	17,047
販売費及び一般管理費	12,558	12,266
営業利益	4,214	4,780
営業外収益		
受取利息	27	29
受取配当金	357	317
持分法による投資利益	109	133
その他	177	145
営業外収益合計	672	626
営業外費用		
支払利息	406	406
設備休止期間費用	—	550
売上割引	148	227
為替差損	154	37
その他	218	471
営業外費用合計	928	1,692
経常利益	3,957	3,713
特別利益		
受取賠償金	—	96
補助金収入	97	69
事業譲渡益	700	—
その他	43	4
特別利益合計	841	170
特別損失		
固定資産除売却損	205	141
固定資産圧縮損	97	69
投資有価証券評価損	1,203	61
災害による損失	3,572	—
その他	74	31
特別損失合計	5,153	302
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△354	3,581
法人税等	499	1,422
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△854	2,159
少数株主利益又は少数株主損失(△)	120	△63
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△975	2,222

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△854	2,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	△1,390
繰延ヘッジ損益	△4	△6
為替換算調整勘定	△24	350
持分法適用会社に対する持分相当額	25	37
その他の包括利益合計	△87	△1,008
四半期包括利益	△942	1,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,052	1,229
少数株主に係る四半期包括利益	110	△78

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2011年4月1日 至 2011年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	15,890	14,802	17,110	4,968	6,080	58,852	—	58,852
セグメント間の内部 売上高又は振替高	666	163	563	4,976	3,318	9,687	△9,687	—
計	16,556	14,965	17,673	9,945	9,398	68,540	△9,687	58,852
セグメント利益	587	2,870	672	341	388	4,861	△647	4,214

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 2012年4月1日 至 2012年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	13,990	16,860	20,224	5,998	6,644	63,718	—	63,718
セグメント間の内部 売上高又は振替高	755	139	442	3,083	3,248	7,670	△7,670	—
計	14,746	16,999	20,666	9,082	9,893	71,389	△7,670	63,718
セグメント利益又は 損失(△)	△367	3,688	1,676	205	△0	5,202	△422	4,780

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。